

(裏表紙)

(表紙)



「ミズベリング世界会議」の開催!!

2015年10月(予定)

- 水都と呼ばれる世界の諸都市を招致し、世界の水辺のアイデアを集結
- 「水都大阪」と連携し、日本の水辺、大阪の水辺を世界にアピール

【主催】一般社団法人水都大阪パートナーズ

【協力】国土交通省近畿地方整備局、大阪商工会議所、一本松海運株式会社、サントリーホールディングス株式会社、ミズベリングプロジェクト事務局

※水都大阪パートナーズを、水と光のまちづくり支援本部は支援しています。



MIZBERING

ミズベリング
大阪会議 記録集



水辺から世界へつながるまちへ

「ミズベリング大阪会議」は、「水辺のアクションがもっと増えれば、みんなのまちはもっともっと輝くはずだ」というミズベリングのコンセプトのもと、水辺に関わる人たちが一堂に会し、新しいアイデアに向けて意見を交換しました。

今回は、大阪がこれまでに行ってきた取り組みが、どんな「おもろい仕掛け人」によって行われてきたか、市民や官民がどのような動きをしてきたのか、「水辺の活動はビジネスになるのか」といった裏側にも迫り、これから世界に向けて日本の水辺を発信するためのヒントを共有し、意見交換を行いました。



MIZBERING

ミズベリング 大阪会議

主催：
一般社団法人 水都大阪パートナーズ

協力：
国土交通省近畿地方整備局、大阪商工会議所、
一本松海運株式会社、サントリーホールディングス株式会社、
ミズベリングプロジェクト事務局
※ 水都大阪パートナーズを、水と光のまちづくり支援本部は支援しています。

Contents

05 ミズベリングプロジェクトについて

水辺セッション

07 開催概要 / コンセプト
09 マップ / タイムテーブル

Session 1
11 ミズベのアクティビティ・セッション

Session 2
17 ミズベのビジネス・セッション

Session 3
23 ミズベのシビックプライド・セッション

水辺スクール

30 開催概要
31 マップ / タイムテーブル

33 水都大阪の取組み紹介
34 仕掛け人に出会うツアー&クルーズ

37 2015年に向けての3つの宣言
38 全体アンケート集計・抜粋





水辺のアクションをみんなで起こせば、日本のまちはもっともっと輝くはずだ。

なにやら、全国の水辺が、ゆるゆると元気になってきた。カフェやテラスができたり、巨大アヒルが浮かんでいたり。河川を管理する規制の緩和で、水辺のポテンシャルが一気に加速してきたみたい。すでに元気な水辺の都市もあるけれど、まだまだ水辺をとりいれてワクワクできる環境づくり、まちづくりはできるはず。そこでミズベリング・プロジェクト、開始。

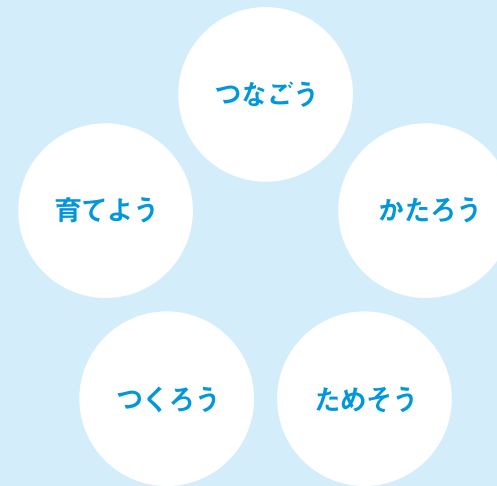
ミズベリング (MIZBERING) とは、「水辺 + リング (輪)」の造語であると同時に常に現在進行形 “ING” の気持ちで、水辺とまちが一体になった美しい景を未来へ創造しつづけるソーシャル・アクションワード。みんなのアイデアとアクションが集まれば、日本の水辺は、きっと世界がうらやむ楽しくて素敵なまちになるはずだ。

規制緩和で水辺は一気に開放へ。

河川は、水害から市民生活を守るという視点から、国や都道府県ごとに整備され厳しく管理されていました。しかし昨今、水害対策だけでなく、水辺の美しいまちづくりを目指して規制緩和が進み、市民や民間のチカラ (カタイお役所では考えつかない知恵やノウハウ!) を積極的に活かそうと、全国の水辺は動き出しています。商業ベースで水辺にカフェやテラスを設置したい! とか、イベントやコンサートをしたい! 等、水辺を愛してやまない皆さんの思いや夢をカタチにする可能性は、日々高まっています。

水辺の未来が動き出す! ミズベリングプロジェクト

かつての賑わいを失ってしまった、日本の水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクトです。水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と、新しい賑わいを生み出すムーブメントをつぎつぎと起こしていきます。



[ミズベリング 5つのアクション]

つなごう

「水辺の未来」を考える人がつながれば、大きなムーブメントが始まるはずだ。

かたろう

「水辺の可能性」をみんなで掘れば、思いも寄らないアイデアが浮かぶはずだ。

ためそう

「水辺でのチャレンジ」が増えていけば、世の中はもっと水辺に注目するはずだ。

つくろう

「水辺を通じたまちづくり」が進めば、日本のまちは世界がうらやむまちになるはずだ。

育てよう

「水辺での暮らし」をみんなで育てていけば、人生はもっと豊かになるはずだ。



Mizube Session

2014.10.11



水辺セッション

2020年の水辺を 考えるセッション

2014.10.11(土)
堂島リバーフォーラム

「水辺セッション」では、今までの水辺プログラムについて紹介し、今後の夢について、3つのテーマに分けてワークショップを行います。

“ミズベのアクティビティ・セッション”では、水と光の首都大阪にふさわしい文化創造のありかたについて、“ミズベのビジネス・セッション”では、水辺のパワーを最大限に活かす新たなビジネスモデルはあるかについて、“ミズベのシビックプライド・セッション”では、市民による水辺の使いこなしの先に何があるかを、あらゆる立場の方たちに語って頂きます。

10.11

MIZUBE SESSION

1 ミズベのアクティビティ・セッション

水辺をまちの舞台にする活動をあつめよう

〈パネリスト〉

岡智恵子（光のまちづくり推進委員会委員）
西野 達（アーティスト）
玉置泰紀（KADOKAWA ウォーカー 統括局長）
山名清隆（ミズベリングプロデューサー）
佐藤千晴（大阪アーツカウンシル 統括責任者）

〈コーディネーター〉

忽那裕樹（水都大阪パートナーズプロデューサー）

2 ミズベのビジネス・セッション

水辺で楽しい時間を過ごす場所をつくろう

〈パネリスト〉

大江幸路（大阪シティクルーズ推進協議会 事務局長）
佐藤裕久（株式会社バルニバービ 代表取締役）
芝川能一（千島土地株式会社 代表取締役）
平野拓身（株式会社ジール 代表取締役）

〈コーディネーター〉

佐井秀樹（水都大阪パートナーズプロデューサー）

3 ミズベのシビックプライド・セッション

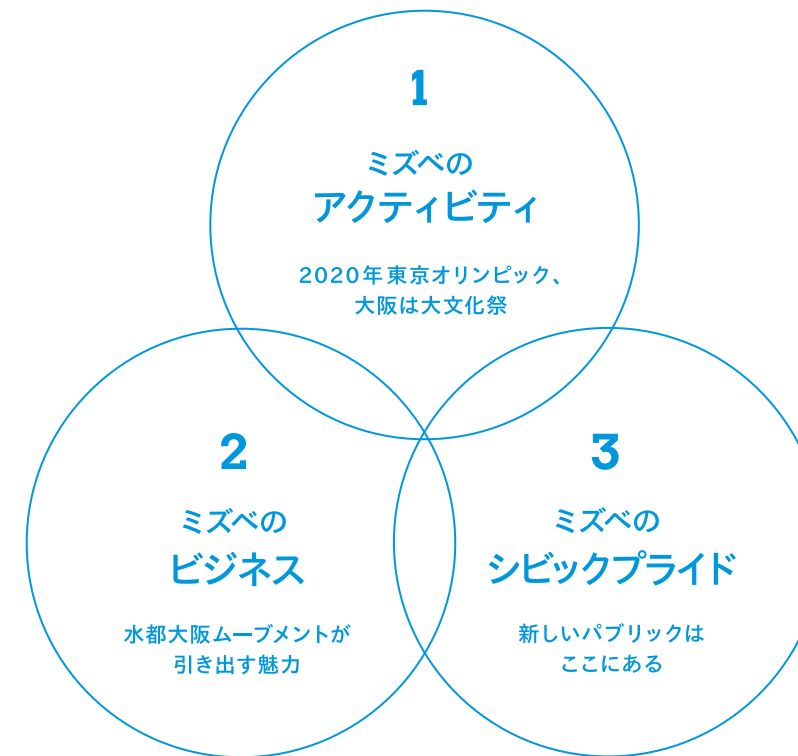
水辺に人が集い語らうしくみを考えよう

〈パネリスト〉

伊藤香織（東京理科大学 理工学部建築学科 准教授）
嘉名光市（大阪市立大学大学院 工学研究科 都市系専攻 准教授）
藤井政人（国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境保全調整官）
山崎 亮（コミュニティデザイナー）

〈コーディネーター〉

泉 英明（水都大阪パートナーズ プロデューサー）



ミズベコンシェルジュ/
八木早希

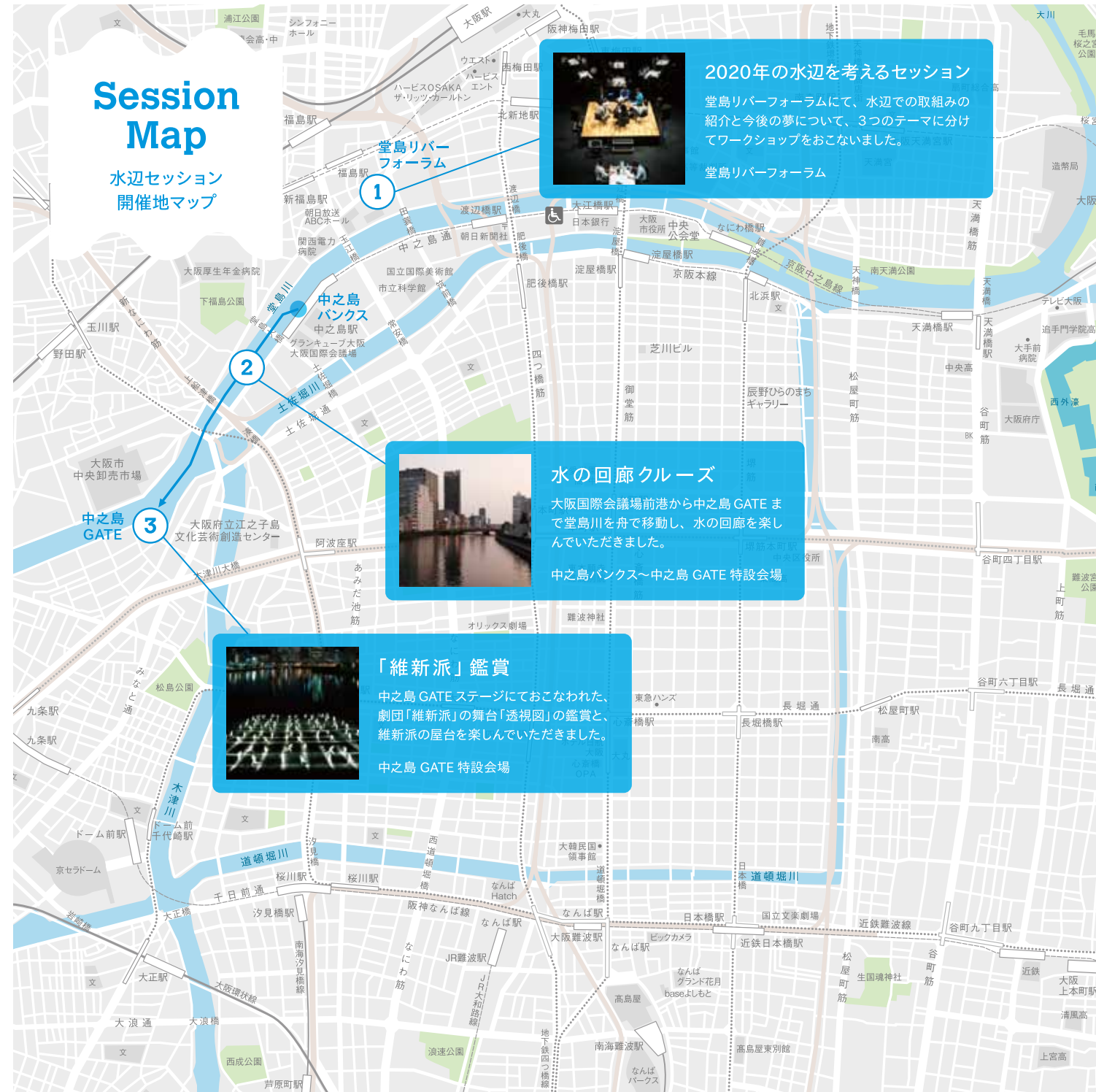
1978年LA生まれ、大阪阿倍野育ち、小学校3年間韓国ソウル在住。高校1年間シアトル留学経験あり。毎日放送アナウンサーを経て、日本テレビ「NEWS ZERO」キャスター。2014年10月から同志社大学客員教授。

「ここ数年の、大阪の水辺の洗練は目を見張るものがあり、市民としても嬉しい限りです。私も微力ながら水辺の活性化のお役に立てたら幸いです。」



Session Map

水辺セッション
開催地マップ



2020年の水辺を考えるセッション
堂島リバーフォーラムにて、水辺での取組みの紹介と今後の夢について、3つのテーマに分けてワークショップをおこないました。
堂島リバーフォーラム

水の回廊クルーズ
大阪国際会議場前港から中之島 GATE まで堂島川を舟で移動し、水の回廊を楽しんでいただきました。
中之島 BUNKO ~ 中之島 GATE 特設会場

「維新派」鑑賞
中之島 GATE ステージにておこなわれた、劇団「維新派」の舞台「透視図」の鑑賞と、維新派の屋台を楽しんでいただきました。
中之島 GATE 特設会場

Time Table

2020年の水辺を考えるセッション

時間	内容	所要時間	開催場所	登場人物
13:30	開会・ミズベリング説明	10	堂島リバーフォーラム	[司会] 八木早希 (Blossom Out)
13:40	セッション1 ミズベのアクティビティ・セッション 水辺をまちの舞台にする活動をつめよう	75		[コーディネーター] 忽那裕樹 (水都大阪パートナーズ) [パネル] ※ 11 ページ参照
14:55	休憩	10		
15:05	セッション2 ミズベのビジネス・セッション 水辺で楽しい時間を過ごす場所をつくろう	75		[コーディネーター] 佐井秀樹 (水都大阪パートナーズ) [パネル] ※ 17 ページ参照
16:20	休憩	10		
16:30	セッション3 ミズベのシビックプライド・セッション 水辺に人が集い語らうしくみを考えよう	75		[コーディネーター] 泉 英明 (水都大阪パートナーズ) [パネル] ※ 23 ページ参照
17:45	総まとめ	8		各コーディネーター
17:53	締めのことば	5		忽那裕樹 (水都大阪パートナーズ)
17:58	あいさつ	2		高梨日出夫 (水都大阪パートナーズ)
18:00	2020年の水辺を考えるワークショップ終了			

水の回廊クルーズ

18:30	中之島 BUNKO 出発		大阪国際会議場前港	
	水の回廊クルーズ			
19:00	中之島 GATE 到着		中之島 GATE 特設船着場	

「維新派」鑑賞

19:30	「維新派」鑑賞		中之島 GATE 特設会場	
-------	---------	--	---------------	--

Session 1

ミズベのアクティビティ・セッション

テーマ：

水辺をまちの舞台にする活動をあつめよう

第1セッションは、水辺を舞台に何ができるのか？

光のまちづくり、文化・アート、メディア、
各分野のプロフェッショナルたちに事例を交えて、
話し合っていました。

<コーディネーターからの報告・問題提起>

水都大阪での取り組みがどのように展開してきたか。
行政や民間事業者、市民が担ってきた役割。これからのミズベの可能性。

[パネリストによる発表]

- ・「水都大阪の活動紹介、大文化祭に向けて」 忽那裕樹
- ・「光のまちづくりと中之島ウエストエリアの賑わいづくり」 岡智恵子
- ・「水辺のアート展開、水都大阪とカンヴァスへの想い」 西野 達
- ・「一緒にまちをつくらう」との想い 玉置泰紀
- ・「ミズベリングへの想い、今後の展開」 山名清隆
- ・「中之島を中心に船で巡る大阪」 佐藤千晴

[参加者を交えた意見交換・ディスカッションとまとめ]



水都大阪の活動紹介、大文化祭に向けて

2001年に協議会が発足され、水都大阪の取り組みがスタート。2009年にはアートをテーマに52日間のイベントを開催された。そして、2011年からは水都大阪フェスの企画運営を行ってきたが、水都大阪フェスでは、アートを設置したり、水辺で活動している団体や水都大阪を支えるサポーターと一緒に協働しながら、“市民が市民をおもてなし”する

イベントを実施してきた。2015年に向けては、日常的に大人と子どもと一緒に楽しめるようにぎわいを作りたいと思っている。また、イベントの時にはみんなが結集して出会い、世界の人たちがここへ集まってくるような大文化祭のようなものを来年みんなと協働して実施できたらいいなと思っている。

忽那裕樹

水都大阪パートナーズプロデューサー

株式会社 E-DESIGN 代表取締役。ランドスケープデザイナー。大阪府立大学農学部緑地環境工学科卒業。景観・環境デザインをはじめ、まちづくりの活動や仕組みづくりまで、幅広いプロジェクトに携わる。庭園をはじめ公園や広場、大学キャンパス、商業・集合住宅・病院などのランドスケープのデザインとプログラムを国内外で展開。また、パークマネジメント、タウンマネジメントを通して、地域の改善や魅力向上に様々な立場で関わり、現在、官民協働の場として設立した水都大阪パートナーズ及び江之子島文化芸術創造センターのプロデューサーを務めている



Session

1

ミズベリングへの想い、今後の展開

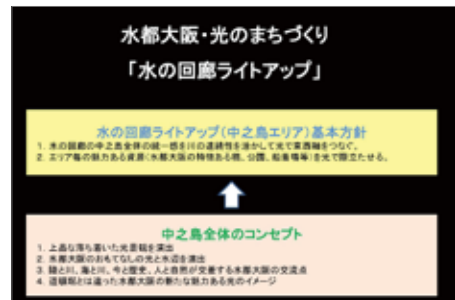
ミズベリングは“日本の川をもっとおもしろくしようじゃないか”との想いで立ち上がり、未来創造力を高めてそしてソーシャルデザインで日本の水辺を変えていこうというプロジェクト。日本はロシ

アに続いて規制の厳しい国だが、行政と企業、市民が一緒になってアイデアを出し合って、世界に注目される日本の水辺の魅力化をして、日本の川の未来創造力をぐんぐん高めようと考えている。

山名清隆

ミズベリングプロデューサー

EXPO85 日本政府館ディレクター、米国フードトレンド情報誌 U.S.FOOD JOURNAL 編集長、テレビ朝日「東京ソフウォーズ」番組キャスターなどを経て、広報企画プロデュース会社(株)スコップを起業。公共広報・ソーシャルコンテンツ領域で独自のプロジェクトを推進



光のまちづくりと中之島ウエストエリアの賑わいづくり

光のまちづくりは、単にライトアップするのではなく、大阪の魅力を引き出し長く愛される風景を作ろうというもので、光のまちづくり推進委員会という官民が連携した組織が12年前から取組んでいる。

中之島ウエストエリアでは、民間9社で結成されているリアプロモーション連絡会を二年前に立ち上げた。昼と夜と休日という時間軸でまちのにぎわいとブランドを作っている。

岡 智恵子

光のまちづくり推進委員会委員

株式会社カクタス取締役会長。舞台照明、比叡山延暦寺等のライトアップなどの事業を行う傍ら、大阪の光のまちづくり推進委員会のメンバーとして、大阪光のまちづくり2020構想を2010年に策定。OSAKA 光のルネサンスは、2003年の第1回から中心となって取り組み、大阪の冬の風物詩となるまで育てた。



水辺のアート展開、水都大阪とカンヴァスへの想い

存在感ある煙突でアートが負けるという声がある中、作品のフランスのナント『煙突の上のホテル』では、逆に煙突をアートに取り込んだ。『シンガポールのマーライオンホテル』は、“アート”というテーマで、シンガポールのイメージを世界に発信

する国家戦略として実現した。『中之島ホテル』は、公衆トイレを土台にすることでシンガポールの20分の1の予算で制作出来た。海外には、突拍子もない発想のアートを受け入れる土壌がある。

西野 達

アーティスト

1960年愛知県生まれ。ケルン在住。ミュンスター美術アカデミー(ドイツ)を卒業後、1997年より、屋外の公共物を取込んで大掛かりなインスタレーションを手がける。大聖堂の風向計を取り込んだ部屋、コンテナをクレーン車でつり上げた部屋をカフェとして営業するなど、海外でのプロジェクトが多数



“一緒にまちをつくらう”との想い

ウォーカーは、すべての情報のハブみたいな存在になっており、単に雑誌をつくるというよりは、実際に一緒にまちをつくらうというような気持ちでやってきた。おおさかカンヴァスの審査員も立ち上げから

やっているが、これも一緒にまちをつくらうとの想いで関わっている。今後は大阪市をソーシャル化して、中之島の水辺のコミュニケーション、日常的な発信というのをぜひ実現したいと思っている。

玉置泰紀

KADOKAWA ウォーカー 統括局長

枚方市出身。大学卒業後産経新聞記者として大阪府警察を担当。その後福武書店を経て角川書店に移籍。九州、東海、大人のWalker編集長を経て関西Walker編集長に。大阪の光のまちづくりや水都のプロモーションに大きく貢献。今年度全国のWalker誌を束ねる総局長として東京に赴任。大阪カンヴァス審査委員



中之島を中心に船で巡る大阪

大阪アーツカウンシルは文化行政に専門家の声を反映しようと大阪府と大阪市が共同設置した審議会だが、決して官ではない。民間と行政をつなぎ、一緒に豊かな文化をつくっていきたく活動している。

中之島の水辺は大阪の代表的な文化ゾーンでもある。大阪市中央公会堂に文化や観光の案内所があり、大阪に来た人がそこから船で出発していく。そういう大阪になったら楽しいと思う。

佐藤千晴

大阪アーツカウンシル統括責任者

早稲田大学第一文学部社会学専修卒。1985年に朝日新聞社入社。徳島支局を振り出しに大阪本社学芸部(現・生活文化部)などに勤務。途中96年から2001年まで東京本社学芸部・電子電波メディア局で働いたが、記者活動のベースは大阪。2013年4月に退社。同年6月、大阪アーツカウンシル統括責任者に就任

1 ミズベのアクティビティ・セッション まとめ

アクティビティ・セッションでは、水辺を舞台に様々な活動を行ってきた、各分野のアイデアが豊富な方々に集まって頂き、これまでに取り組んだ経験をもとに、これからの水辺の可能性についての意見交換を行いました。

パネリストの意見

アートの可能性と水辺への展開

・ドイツではテーマパークへ行く感覚でアートを見に来ており、アートが日常に深く関わっているが、日本はまだそこまでいっていない。“アート”に触れる機会や見せ方を工夫して、もっと身近なものとしてみんなに捉えてもらえるように出来たら、日本の水辺でのアートの可能性も広がってくると思う。

・フランスのナントは、世界で一番文化にお金をかけてるまちで、その結果、アートイベントは世界的にも有名になっている。水辺へのアート展開にもお金をかけるべきである。

水辺に挑戦しつづける大阪人

・創造力や“やろうじゃないか”みたいな超能力がすごいと思う。壁を越えたり、その向こう側をみたいという好奇心やその向こう側に立って未来を眺めるパワーなどがすごくある感じがする。

・大阪のなにがすごいかって、このすごさに気がついてない感じがすごいなと思った。“やったらええやん精神”みたいなものが他ではあまりない。

・“やってみなはれ”が根付いているまち大阪。アナキーな人が多い。おおさかカンヴァスは行政主導でさまざまな挑戦を行ってきた。

“水”というファクター

・動きのある水が与える癒しは、水辺プログラムの可能性を感じる。

・水辺について考える人たちは主体的に動き出す波みたいで、水のように生き、水のように考え、形に取まらないもの。高い所があったら必ず低いところに行ってしまうことも謙虚。そういった要素を持った人たちだから周りの人間が協力的になる。

谷折り

【ふせんに書き出された意見】

コンテスト

水辺魚レース【カケゴト】／水辺のファッションショー／口の字でキョウテイ／ベツ自慢コンテスト／ミズベ活用「変なアイデア」コンテストをやる！／「MVP」でなく「MVH」(すごいへんな人)をえらぶ！

食べる

船着場バー／大すいか冷やし大会（アリイ）／都市内の水辺というだけにこだわらずバーベキューなどの集いが自由にできるようにしたい／ミズベ居酒屋／西の剣先カフェ・バル／SUPでお茶会／水上カフェ・レストラン／ランチパーク&パフォーマーのお披露目の場／どまんかレストラン 大川の真ん中に水上レストランを作って食事、水上レストランまで船で移動（mickey）／いま、みかんで街の美かんづくりをしています。（アドブトリバー千代崎）／酒蔵（川の水を使う、汚ければ上流のきれいな水を使う）／ミズベモーニング（朝食）／マルシェ／イクスの魚を釣って BBQ／前の川で魚を釣って BBQ／水車でそばをひいてそばづくり（なちぐる）／水上マーケット（マルシェ）+水辺レストラン／バラ農園の真ん中で茶道

自然

水辺緑化計画 水いらす／外来種の生き物ブルーギル、アフリカタニシを採って焼いてビアパーティする／岸辺（干満のある）に満月設置 例）20日満 6:00 干 12:00／中之島をダッシュ村に（けんぞう）／水辺の見通し 視界良好 そこにキャンパスがある／カニ等が上がる浜／水辺の道のいやしスペースに香り（自然）を加え、より気持ち豊かにしたい／流されてみる

水技術

橋でなく水中移動バイブ（サカイ）／ビルから道頓堀へ 噴水と光と音でアトラクション／水車 川の流れるを感じる 発電やからくり動力にも利用しても／水位の干満で（1.5m程度）小水力発電したい／川海兼用船の開発／小水力発電（流れの力をエネルギー）（なちぐる）／水の水量や速さを利用した何か!! 具体的な内容はないが毎日変化が楽しめると思う（ヤマサキ）／ダイハツを中心とした企業コンソーシテムで電気水陸両用 自動車を開発して欲しい／水流を使っっての小水力発電実験 水辺の灯りをみんなで灯していけないか。（いっそん）／でっかい水車を動力にした観覧車をつくりたい（うすい）

アート

大文化祭 2015 水辺アート祭（まめ）／船から見た景観で建物に LED テープでフチ取りをしてライトアップ 倉庫とか目茶苦茶カッコ良くなる／アートを保存できる 準備委員会の設置／企業 PR と原資運動したアートイベント（ARTNEXUS）／川にTシャツをひらひらさせたい（たか）／3D マッピングが見たい／アーチ型水門に貼り絵を 船からしか見れないアート作品（アヒルのドバ）／水辺の子供向け昔遊びカレッジ 人形げき／水位と連動したアート作品づくり（なちぐる）／水面をプロジェクトマッピング／水辺のオープン美術カフェ／現代アートをあちこちに並べる 人形アートとか／北浜の水辺 2D アート展示／川の中に彫コクを／水辺のあき地に繋ったくずのつるを採ってみんなでアート作品つくりコンペをする／水辺の道を美術館のように廻れる造りにしたい／水上に絵を描きたい（やすなが）／場所により水中からライトアップ 水と光はとても相性が良い!!／岸壁の車止めの外側も LED テープでライトアップ。とにかくフチ取る／屏風アート+迷路的な…／光のきょう演を夏に出来ないか？（天の川伝説をスタート）とする

グッズ

水上セグウェイを開発して欲しい（アベ）／水上フロート広告 たえば、「白くまアイス」など／ウォーターホテル／ウォーターベッド／水辺で遊ぶグッズの100円ショップ／水質浄化（ロカ）装置（常設）チャリンコ漕ぐと、ポンプ動いて水質浄化する仕組みなど、通りすがりにちょっと聞かれるツール

議論

水辺のアゴラ（コミュニケーション）（MOTTS）／外に発信できる（勝手に伝わる）とんでもないことを受け入れる／水辺活動のモラルの共有／水辺都市宣言して憲章をつくる（703）／「このゆびとまれ」形でやる／ミズベリング ダム会議／水辺の活性化のために、戦い方の共有をしたい（あ言われたらこういう的アーカイブ集）（なちぐる）／オソトでミズベで気軽にいつもみんなで〇〇について話せる場所があったらイナ／ “こんなことできたらイナ!!”をみんなで話すことから始めたですネ

中折りページ
W: 202mm

スポーツ・遊び

水上キャンプ、水辺キャンプ こどもも大人も（たかの）／橋からスレスレバンジー／ SUPでヨガをやる／フットサルコートを川の上に（アリイ）／F1 中之島 GP／アヒルボート タイムトライアル／市民運動会／レース 橋から橋でタイムトライアル（アリイ）／水上ゴザ走り大会（川の両岸渡す）／日焼けりバーパーク／中之島を1周する流しそうめんをやりたい（こうじやさん）／ミニトリアスロン（スイム、ラン、バイク）／手ぶらで水上アクティビティ／オフィス街でも川の生き物にいやされた（まさる）／ドッグラン／レンタルフィッシング（川とじかに遊ぼう）（いっそん）／水上トランポリン／でっかい水でっぽう（消防の）で川の対岸とでたたかいかいごっこ（うすい）／水辺、都会でキャンプ／護岸ロッククライミング（サカイ）／マリンスポーツ（ジェットスキー、バナナボート）（さくや）／イカダをDIYでつくって川下り／リバーサイクリング／ウォーターボールレース／仕事の合間に川で水遊び（まさる）

水辺ショー

水上ライブ／なかのしま劇団 なかのしま発のなかのしまを舞台にした市民による劇団（mickey）／リオカーニバルのように企業や市民、観光客が自由に参加する水上の舟を利用したパレード／水辺で音・音楽を愉しみたい（Bai）／水辺、Live、パフォーマンスを川の上で。川に対して開いた場から見るポイントを作る（Yume）／水のスクリーンで短編映画を上映／船からスカイランタンを飛ばす タイのイーベン祭のような／水辺シアター／笹舟レース（ヤマサキ）／中之島線各地下ホールで同時コンサート／水ロケット大会（アリイ）／水辺上空で航空ショー ハンガリーブダペストで見ました／西の丸の星空コンサートが失くされたので中之島で水辺コンサートを！（大阪4大フィル）（いっそん）／カヌーのレースが見たい

【ミズベのアクティビティ・セッション】

1

水辺の
アゴラ
(312-4-700)

カヌーの
レースが
見たい

川に
Tシャツを
洗いたい

水辺活動の
モラルの
共有

川の上の
遊牧
生活

仕事の
合間に
いびきあそび

前の川で
魚を釣って
BBQ

流されて
みる。

小水力発電
(流しかを
エネルギー)

Session
1

水上ライブ

水上
ランボリン

水辺都会
キャンプ

企業PRと
原資活動した
アートイベント。
ARTNEXUS

現代アートを
あちこちに
並べた
人形アート

「変なアイデア
コンテスト」
ちや子!

船を
とめられる
家

船着場
バー

水車
川の流れる感じ

大文化祭
2015
水辺アート祭

川海兼船
の開発

水辺を
モニタリング
(朝食)

水辺を
プロジェクト
マッピング

水上キャンプ

イカダ
DIYツアー
川下り

大おいか
合戦
大会

水上マーケット
(マルシェ)
+
水辺レストラン

Session 2 ミズベのビジネス・セッション

テーマ：
水辺で楽しい時間を過ごす場所をつくろう

水辺で楽しい時間を過ごす場所をつくろう。
船が行き交う水辺を眺めながらテラスで食事をする。船と水辺で手を振りあったり、楽しい時間を過ごしなが、それがまちの価値を高め、ビジネスとして次の活動に繋がっていく。
第2セッションは、ミズベを活用したビジネスを実践するパネリストたちが集結。
水辺を楽しく活用しながら、どうビジネスにつなげていくかをセッションしていただきました。

<コーディネーターからの報告・問題提起>
ミズベを楽しむためには、それがビジネスになり次の活動につながる必要がある。
水辺のビジネスには、3つのアプローチがある。

1. 直接利益を上げる
2. 周辺に経済効果を生む
3. 集客を活かした水辺のショーケース化

- [パネリストによる発表]
- ・「水都の新たなビジネスモデル展開について」 佐井秀樹
 - ・「アートによる地域活性化・大阪の水辺再発見」 芝川能一
 - ・「水辺を活用した新たなサービス事業の展開」 佐藤裕久
 - ・「大阪の舟運の状況。大阪シティクルーズ協議会の価値・将来像」 大江幸路
 - ・「水辺の魅力をアイデアで紡ぐ」 平野拓身

[参加者を交えた意見交換・ディスカッションとまとめ]

ミズベのビジネス・セッション
水辺で楽しい時間を過ごす場所をつくろう
×
ビジネス
||
楽しくするためのミズベのモノやコト

水と光のまち大阪
夜景を楽しむクルーズ

周辺マンション販売時、地域の魅力として北浜テラスを紹介

地域の魅力度・価値向上に貢献

ミズベのビジネス
1. 楽しい経験や場所を提供
→ 直接売上

ミズベのビジネス
2. 地域の魅力向上に貢献
→ 経済波及効果

ミズベのビジネス
3. 集客を活用したプロモーション
→ ミズベのショールーム

Session 2

水都の新たなビジネスモデル展開について

水辺のビジネスを大きく3つに整理したい。

1. 直接の売上げを獲得するビジネス。お花見や、大阪城を望むクルーズ。とんぼりリバークルーズは、年間15万人以上乗船がある。夜景を見ながらディナーが楽しめるクルーズも開発した。また、河川空間占用の準則の特例で川辺のレストランが、大阪には数多く生まれた。中之島の歩行者専用道路を活用したマーケットや河川沿いの公園で行った「オープンテラス」などもある。

2. 地域の魅力や価値向上に貢献するもの。北浜テラスは、地域の価値向上に貢献している。ラバーダックは、企業の社会貢献活動で生まれたものだが、大勢の集客を得ることで周辺の経済効果を上げている。最後に、水辺のイベントが集客することで、企業が水辺をプロモーションに使える。大勢の来場者に対しブランド価値向上やプロモーションに取組むことができる。

佐井秀樹
水都大阪パートナーズプロデューサー

関西電力(株)にて人事・教育等を担当。ベンチャーにてガーデニング事業に取組んだのちマーケティング会社設立、メーカーの商品開発やWEBマーケティングを担当。その後、光のまちづくりによる大阪の活性化に従事。OSAKA 光のルネサンスのブランディングに取組み「ガイアの夜明け」で特集される。2010年に光のまちづくり構想2020を策定。大阪シティクルーズ推進協議会設立や北浜テラス等の水都活性化に寄与。その後、ホテル経営、観光事業に取組み、昨年7月より水都大阪パートナーズプロデューサー



アートによる地域活性化・大阪の水辺再発見

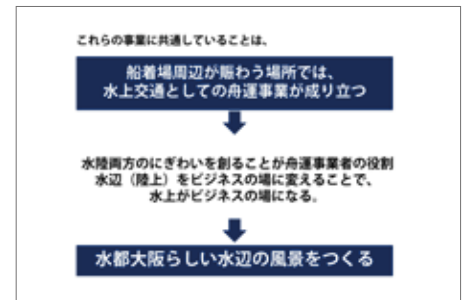
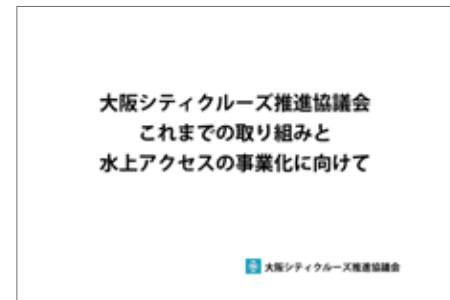
ラバーダックは、水都大阪 2009 の連携で社会貢献事業として実施。その後事業団体からの招聘というかたちで展示している。グッズの販売や、周辺への経済波及効果が大い。自社所有地の名村造船所跡地など、北加賀屋駅周

辺をアートの力を使うことで活性化に取り組んでいる。また、2003年より個人所有の水面を活かし、水上の建物を実験的に建設・研究している。台船に比べ目線が低く、水辺の魅力をより感じられる。

芝川能一

千島土地株式会社 代表取締役

兵庫県生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業後、住友商事を経て 1980 年千島土地入社。2005 年社長。大阪土地協会副理事長。クリエイティブオオサカ（大阪創造都市市民会議）発起人。不動産事業を本業とする傍ら、名村造船所跡地を活用したイベントやラバーダックを活用した社会貢献事業にて地域の活性化に寄与



大阪の舟運の状況。大阪シティクルーズ協議会の価値・将来像

大阪水上バスは開業30年を迎えたが、その間多くの事業者が生まれた。水都大阪 2009 に向け、メーカー、旅行社、鉄道、行政、マスコミも入ったプロモーション組織として大阪シティクルーズ推進協議会を設立した。

観光の乗船者はインバウンドで増加しているが、アクセス手段としての船は成り立ちづらく、陸地の魅力づくりが必要。船着場が賑わうことによって水都大阪らしい水辺の風景を作れると考え活動している。

大江幸路

大阪シティクルーズ推進協議会 事務局長

大阪水上バス 企画宣伝部長。京阪グループの観光船会社として事業を推進しつつ、大阪の観光船事業を行う会社が連携して水都大阪のプロモーション等に取り組む「大阪シティクルーズ推進協議会事務局長」として、会社の壁を越えて大阪の舟運の活性化に取り組む



水辺を活用した新たなサービス事業の展開

水辺は気持ちいいよね。ここで一杯のコーヒーが飲めたらいいよね。と考えて水辺で飲食店を広げている。行政にもご苦労していただきながら、道頓堀沿いの空間や中之島公園など、今まで使えなかったところを変えて来てもらった。

大阪は進んでいるが、東京でも隅田川沿いなどで取り組んでいる。今夏の中之島オープンテラスは、皆さんと協力して、インフラもない公園の活用で良い実験ができたのかなと思っている。

佐藤裕久

株式会社バルニバービ代表取締役

京都府生まれ。1991 年、有限会社バルニバービ 総合研究所を設立し、代表取締役に就任。中古の倉庫や廃材を用いた手づくり感覚のカフェ、レストランをオープンし、大阪・南船場を繁華街に変えた仕掛け人として注目を浴びる。商業施設のプロデュース、起業・経営についての講演会なども行う



水辺の魅力をアイデアで紡ぐ

東京港区を本拠地に平成5年6月に創業。3年前に運河沿いの地中海レストラン・キャプテンズワーフを開業。最近では、東京スカイツリーの建造途中を屋根のないポンツーン船でお見せするクルーズをはとバス

と造成したり、お花見クルーズを運航したりと、今まで東京に無かった商品を展開し、看板商品として育てている。常に斬新なアイデアで水辺の魅力を多くの方に伝えられるような事業を展開していきたい。

平野拓身

株式会社ジール 代表取締役

プレジャーボートの販売・管理に従事。独自の考えで起業を決意し、平成5年6月に(株)ジールを創立。目黒川を遡上するお花見クルーズや、隅田川・神田川を一周するクルーズ、羽田空港滑走路に沿って走る「飛行機ウォッチングクルーズ」など、従来にない企画で事業を「情熱」で拡大し現在に至る

2 ミズベのビジネス・セッション まとめ

水辺で楽しい時間を過ごす場所をつくろう。それがビジネスに繋がっていくはず。

第2セッションは、ミズベを活用したビジネスを実践するパネリストたちが集結。

水辺を楽しく活用しながらまちの価値を高め、どうビジネスにつなげていくかをセッションしていただきました。

パネリストの意見

官と民が連携してミズベに魅力の空間を実現する

・水辺には気持ちいい空間が広がっており、それを活かすことがまちの活性化にもビジネスにも繋がる。

・水辺で景色を見ながら食事をし、お茶を楽しんでくつろぐ。水面を見ながら川辺を走り、水辺の施設でシャワーを浴び、気分も新たに仕事に向かう。

・水辺の魅力を活かすには、民間の発想と行政の規制緩和など、お互いに想いを一つにして進めることが必要。大阪は、それがうまく進んでいる。

・水辺を活かすのは大阪が誇るべき文化。

会場からの声

ビジネスに繋がるような、「楽しくてためになるミズベのモノやコト」についての意見が集まった。

“水上会議”“ミズベ温泉”“大阪市内の成人式は川の上で”や“釣って料理して食べる男のための水上ワイルドクッキングスクール”など、ターゲットやシチュエーションを想定した具体的なものが多く、その様子を想像すると楽しくなってくる、書いた人の想いがとても伝わってくるものばかり。いつか実現させてみたい。

谷折り

【ふせんに書き出された意見】

舟運

大阪潜水艦 ふれあいの岸辺から潜水艦で水中クルーズ、グリコの看板前で浮上する(けんぞう)／水陸両用バスツアー(なちぐる)／水陸両用車 試乗(まつ)／水上タクシーが行き交う風景があこがれです／もっと自由な水上交通(スロ)／法事屋形船 大阪の法事は川の上で行う お寺とタイアップ(けんぞう)／船上成人式 大阪市内の成人式は川の上で行う(けんぞう)／水上のレンタル Office /テーマ性のあるクルーズ(高井)／水上運動会(くみ)／水辺のお店に船で直接のりつきたい(はかせ)／水上マーケット／水の回路で「くらわんか船」大阪名物販売(703)／狭い水路を小さい船でめぐってみたい イギリスの運がのナローボートみたいな／自由使用できる船着場／天満から牛馬経由して桂ぐらまで舟運観光できるようになればいいと思う(まめ)／水(川)上駅で两岸の人をつなぐ(イイジマ)／ドライブ付小型クルーザーレンタル 水上パーティー／水の回廊一周見どころづくり／大阪の市内河川ミズベの散歩道(できれば土で)／川ぞいで歩いて大阪中歩ける。疲れたら水上タクシーにのれる

光

川辺でプラネタリウム／水上プラネタリウム／川の多くの回廊にもクリスマスイルミネーションを!!／水面にうつるプラネタリウムが見れたら…

食べる

フローティング BBQ テラス(舟)／市内でBBQ できるパブリックスペースが無い…(のぐち)／レンタルオープンキッチン(パーティーできる)(北)／メガフロート農園(いちや)／食博を城ホール、ドームで開催。両会場を船でつなぐ(703)／川でのサンセットディナークルーズ／水上クッキングスクール 釣って料理して食べる男のためのワイルドクッキング(けんぞう)／川中Bar(さいお)／うかい→あゆ→食べる(なちぐる)／スシを舟でにぎる船をつくってほしい(うすい)／水上屋台(クルーズや SAP の途中で買い物できる)／水上レストラン／水辺にシートを広げてお弁当を食べる広場、公園があると良い／中之島に常設の“屋台村←やりたい人が挑戦できる”があると良い(田)／川の上のオープンキッチン!(つぼやん)／水上レストラン街←いろいろなお店を複数つくる(あやばん)／川辺のcaféでAfternoon-Tea(お茶会、サロン)

スポーツ

水辺でヨガ。SUP の上でヨガ(なちぐる)／魚釣りビュー PARK 誰がいつ行っても釣れる、子供や女性などの釣りデビューの場(のぐち)／サーフィン体験／水上プロレス or すもう(いちや)／水上サイクリング みんなで自転車をこいで、舟を動かす(S.I)／川のすもう 川に土俵作ってすもう／水中WALK(ニシヤマ)／水上ランウェイ／堤防上ランニングコース(ニシヤマ)／水上市民大運動会(まさる)

ゆ

川辺で温泉(川辺であしゆ)(たか)／↑温泉旅館の「男湯」と「水湯」が時間によってチェンジするように(いちや)／風を感じながら本を読みたい。水上カフェ、図書カフェ、読み聞かせ(くみ)／水上銭湯(ヤマサキ)／水辺温泉 水辺の一面に温泉(露天風呂的な)をつくる(あやばん)／クルーズ温泉(いちや)／水辺で足湯(川沿いが足湯になっている)(あやばん)／足湯みたいな足用プール(夏季)／水辺で温泉。あひるちゃんみながら(くみ)／水辺沿いに座って足湯／川の上の銭湯

アヒル

アヒル型の船 観光船(じゅん)／灯ろう流しならぬラバーダッグ流し(まつ)／あひるちゃんと一緒に泳ぎたい／ミニラバーダッグプロジェクト 親ラバーダッグを子供達がついていく(S.I)／水の映像館 その映像には大阪の歴史等が映し出されたり…(S.I)／アヒルだけでなくカエルも水辺に浮かべる／頭の光るミニラバーダッグの川巡り 夜中に川の上をミニダッグ達が流れていく(天の川クルーズとコラボ)(S.I)／ラバーダッグの良さ スケール感(なみ)／アヒルに対向したガチョウを浮かべたい(うすい)

カフェ

タバコを快適に吸うための水辺スペースオープンカフェ(ナカ)／船着場併設カフェ(ニシヤマ)／大川の真ん中で食べると真ん中レストラン(船上レストラン)(mickey)／川の魚が見れる水中窓がある水辺のカフェ(アユ・サケ)(モコ)／御堂筋から土佐堀川に一体的なオープンカフェ／ロボットレストラン(新宿)の舟 近未来的な船を周航してほしい(インバウンド向け)(うすい)／水上誕生日パーティー／オールナイトカフェ／喫煙席を固定化しない(日替わり)(いちや)／期間限定中之島水辺屋台 808 店舗オープン(けんぞう)／日の出、日没と共に広いスペースで結婚式 シーンを演出する Cool Osaka (Yume) / 橋上マーケットカフェ(あべ)／水上コワーキング／河川敷に企業協賛でイス・テーブルをおく(ブライアントバンク的) / くつろぐ→お茶する→経済効果(なちぐる)

ホテル

水上カプセルホテル(ニシヤマ)／ひるねとぼーと(和歌山 さいお)／水上クルージングホテル 21 時チェックイン 09 時チェックアウト 大阪をゆっくり一周する(けんぞう)／浮き島ホテル(ここにしかない)(モコ)／橋の上にカフェ・ホテル・オフィス・公園・劇場…etc(じゅん)／昼寝ポートフリー¥0/シンガポール風水中ホテル!／水のゆれを利用した1人の空間の部屋 / かわのうえのひみつきち(さいお)

中折りページ
W : 202mm

ミラクル

お花畑浮き島(花摘みできる)／電車の鉄橋 Light up 電車を通るたびに光のインスタクション(なちぐる)／川辺にてこたつかします(こたつピクニック)(たか)／Co working Space / ランニング用と別にウォーキング用の道も作る／水上 Zoo(ニシヤマ)／水上図書館(あやばん)／岸壁を利用した図書館／図書館の水上分室／ウォーターポールアクティビティ／水面の上を好きに歩くマット貸し出し／宝探しゲーム／水の駅を結ぶ水上環状線+JR、地下鉄乗り継ぎ／ミズリンピック水辺でスポーツ国際大会／水上 MICE

インセンティブ

大阪の水辺を好きな人、楽しんだ人が簡単に参加できる 大阪ミズベ新聞 / どこでも川を渡れるようにする / 万が一、川におちても上げられる護岸づくりを! 雁木を増やしてほしい(いっそん)／芸術やアートが人を集めて活動をうむ(ヨシフル)／川床などミズベを活かした店舗に税軽減のインセンティブ(703)／営業利用者の公共還元策とは? / 水致地区?? 水辺に気持ちのおもむくところの設定(しょうれい制度)(のぐち)／水質浄化 などかならんかな 奥う川、汚い川(のぐち)

文化・教育

ドライブシアターの舟 船でのりつけて映画を見る。(橋の裏面をスクリーンにしてもよいのでは…)(うすい)／幼稚園⇒水辺や舟で常に遊ぶ / 居心地 workshop 人+空間+モノ・コト(なみ) / 水上ギャラリー(透明な施設)(サカイ) / IKEA, SUNTORY プロデューサーです。東京資本と大阪の低予算で cl 兼ねたクリエイティブを! / 水辺大学開放、歴史、地理、文化を学ぶ水上大学院(けんぞう) / ミズベ保育園(川青) / お船で学ぼう水上スクール(mickey) / 水上美術館 野外作品を水上に舟巡りで観賞 / 公園とセットで美術館(文化施設) / 川ぞい美術館(さいお) / 中之島公園 人の集まらないくそ寒い冬に熱い Pop ふえすを開催 / どこかのビルの白い壁に野外映画上映会をする / 噴水に映像を流す(夜)外で映画観賞する感覚(S.I) / 水上劇場 / 川の上の映画館

インバウンド

海外の人と街を歩く(ヨシフル) / インバウンド観光客向けの学生通訳ガイド(外国語が学べる機会) / インバウンド

【ミズベのビジネス・セッション】

2

Session 2

発電
たのしく

ミズベ
保育園
(川南)

水上
誕生日パーティー

水上
銭湯

レンタル
釣り

水上で
オープンな
密談。

海外の
人と街を
歩く コシガハ

Co Working
Space

河川敷
セブライパー

和の
料理旅館

水上
MICE

快適な
場所には
ビジネスが
うまれる

プロテック
BBQテラス(A)

水上
屋台

Session
2

水辺Zoo

水上のミズベ
役所
(出張所)

み花畑浮島
(花摘み
できる)

オルナイトカフェ

水辺両用
バスツアー

水辺沿いの
しなご
足湯

大川で
船のパレード
(船団で)

クルーズ温泉
三ツ湯

川の真ん中に
ビームアップ

水の中の
遊園地

水辺沿いの
遊園地

水上
アプロレス

ミズベのお休み処

宝さがし
ゲーム

川の上の
会議室
公民館

水辺の
ゲート

水面に
カラオケ
カラオケ

ミズベリンク
クラブ・テラス

水上
クラブ

水上
マーケット
カフェ

足湯
足湯
(足湯)

Session 3 ミズベのシビックプライド・セッション

テーマ：
水辺に人が集い語らうしくみを考えよう

「シビックプライド」とは、市民一人ひとりが、自分のまちに誇りを持ち、自分がまちを構成する一員であることを自覚し、まちを元気にする取り組みを行うこと。本セッションでは、市民がおもてなし側にとって活動するための方法や、まちづくり・都市の開発、川をきっかけに未来を創造していく考え方をセッションしていただきました。

<コーディネーターからの報告・問題提起>
水都大阪での取り組みがどのように展開してきたか。行政や民間事業者、市民が担ってきた役割。これからのミズベの可能性。水辺での新たな公共性、それを支える担い手や仕組み。

- [パネリストによる発表]
- ・「水辺での新たな公共性を創造する担い手や仕組みとは？」 泉 英明
 - ・「水辺を使いながら都市の未来をつくりだしていく」 伊藤香織
 - ・「水辺 BID の可能性について」 嘉名光市
 - ・「ミズベリンクで繋がっていくことでおこること（可能性）」 藤井政人
 - ・「コミュニティデザインについて」 山崎 亮

[参加者を交えた意見交換・ディスカッションとまとめ]

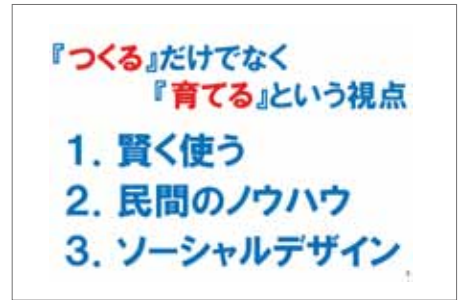


Session 3

水辺での新たな公共性を創造する担い手や仕組みとは？

セッション1の使いこなしアイデアやそれを伝えるメディア、セッション2のビジネスなどが、イベントでなく日常に定着するようになるにはどうしたらよいのだろう。そのために市民や企業の担い手はどのように水辺を自分事としていけるのか、官民の役割分担やそれを継続できる仕組み

泉 英明
水都大阪パートナーズプロデューサー
有限会社ハートビートプラン代表取締役。NPO法人もろとつたのクラブ理事。都市プランナー。都市計画プランニング、震災復興事業、高松市や下関市の中心市街地再生、モノづくりのまち高井田住工共生まちづくり支援など、地域再生・まちづくり支援を手掛ける。水都大阪関連では、社会実験リバーカフェ SUNSET37、大阪シティクルーズ推進協議会設立支援、ご来光カフェ、北浜テラス、OSAKA 旅めがね、水都大阪フェス、中之島ゲートビジョン策定等を手掛ける



水辺を使いながら都市の未来をつくりだしていく

“シビックプライド”とは、“都市に対する市民の声”。ある種の当事者意識に基づく自負心。普通のイベントは誰かがお膳立てしたものを消費するのが多いのですが、活動しているピクニックは自分でつからないといけない。それが他人事でなく自分が楽し

かったし、それを自分から伝えたいって思わせるような仕組みや伝え方が大切と思うんです。また、海外では活動の評価指標として市民のイベント開催能力というものもあるんですよ。

伊藤香織

東京理科大学 理工学部建築学科 准教授

東京生まれ。東京大学大学院博士課程修了、博士(工学)。東京大学空間情報科学研究センター助手を経て、現職。専門は、都市の空間と情報のデザイン、空間情報科学。著書に『シビックプライド:都市のコミュニケーションをデザインする』(宣伝会議)、『空間練習帳』(彰国社)など。シビック・プライド研究会メンバー。東京ピクニッククラブ代表

ミズベリングで繋がっていくことでおこること(可能性)

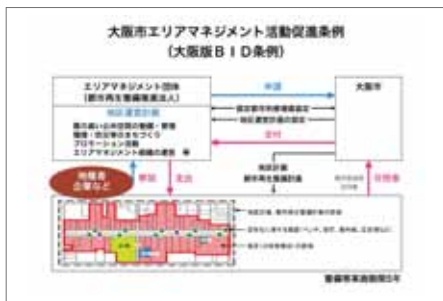
水辺は水とまちの境界領域。アンバランス、危うい領域ってものだからこそワクワクすること、楽しいこと、面白いことが起こる。公共空間って言った瞬間に自分事でなくなってしまう。自分達で水辺を

楽しむ礼儀作法を作る、そういうことを自分たちで考える文化を育てていかないと。相手を変えるのではなく自分が変わる努力をする、だから「川ろうぜ」という意思で関わりたいですね。

藤井政人

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境保全調整官

1991年東京大学工学部を卒業後、建設省(現・国土交通省)に入省。関東地方整備局企画部企画課長、大臣官房技術調査課課長補佐、河川局河川計画課課長補佐、近畿地方整備局大和川河川事務所長、近畿地方整備局企画部企画調整官、水資源機構ダム事業部事業課長などを経て、2012年9月より現職



水辺 BID の可能性について

都市をよくしていくためには、実は水辺っていうのは欠かせない存在。むしろ“中心となるエンジンだ”と思っています。行政だけがまちづくりするのではなく、住民とか事業主、地権者さん、色々な人達

もお金を出し、地区の維持管理やプロモーションなど行政の最低限のサービスより質の高いものを行う。BIDという仕組みが欧米で展開されているが、このような仕組みを大阪でも実現させていきたい。

嘉名光市

大阪市立大学大学院 工学研究科 都市系専攻 准教授

大阪生まれ。専門は都市計画・都市デザイン・都市計画史・景観論。京阪神を中心として都心の再生に向けた都市デザイン、参加型まちづくり、空間デザインに取り組む。大阪府・大阪市特別参与、水都大阪推進委員会アドバイザー、大阪府都市計画審議会委員、大阪市都市計画審議会委員ほか

コミュニティデザインについて

レストラン経営や船を運航するようなビジネスのみでなく、市民の関わり方として自分たち自身が水辺を使いこなすプレイヤーになってほしいと思う。市民のサポーターの方々でコミュニティをつくり、

そのメンバーが水辺の様々な企画を実現していく。“水辺でやれる人集まって”って言って、自分たちなりのやり方で水辺を使いこなしていく、そのようなことをお手伝いしている。

山崎 亮

コミュニティデザイナー

愛知県生まれ。studio-L 代表、京都造形芸術大学教授、東北芸術工科大学教授。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、建築やランドスケープのデザイン、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い

3 ミズベのシビックプライド・セッション まとめ

シビックプライド・セッションでは、水辺の活動を支援したり仕組みをつくったりしているメンバーに集まっていただき、前2セッションでの使いこなしのアイデアやビジネスを日常のものにする、自分たちのまちで水辺に関わっていくような主体や仕組みについての意見交換を行いました。

パネリストの意見

利用者側からの仕掛けで風景を変える

・ピクニックなど日常の風景をかえる仕掛けが有効、こんな使い方ができると広く認識してもらおう。

多様な参画方法

・クラウドファンディングなどの新たなアイデアを実現させる投資の仕組みがでてきている。

新たな公共を担う主体がいる

・エリアマネジメント、新たな公共を担う仕組みの必要性、海外では様々な取り組みがなされている。
・エリアネ組織やSOPのような新たな公共を担う組織、やりたいことを支援する主体は不可欠。

会場からの声

『水辺に人が集い語りあうしくみを考えよう』との問いかけに対してのアイデアが集まった。

“親水性の高い水辺をもっと活用したい！”という声が聞こえてきそうな、公共空間を使用するにあたっての壁（規制や申請）を突破したい思いが詰まったアイデアが多かった。また、“手続き方法を案内してくれる水辺案内所”や“行政申請を世話してくれるコーディネーター”、“想いを共有できるサロン”の設置を望んでいるものも多く、単純にプログラムに参加するのではなく、自ら河川を活用したいと思っている人が結構いることに驚いた。

谷折り

中折りページ
W: 202mm

【ふせんに書き出された意見】

SNS

公共性を担保する。ミズベ利用インターネット審査会。(まさる) / 「いいね！」ボタンみたいな、感心を示すしくみ (つぼやん) / FB, twitter など若い世代が利用する SNS での広告のようなもの

楽しむシクミ

川あそびの学校 (都市において) / 水辺プレーヤー派遣制度 / 伝道師 / 宣教師 / 水辺に色々な画家による絵がかかっている!! / 水辺の遊び案内人みたいなのがあれば (特に都会の水辺を使うルールも教える仕組み) (うすい) / 1万人のおもてなし旗! 大作戦!!! その時、なかのしまが1つになる! (mickey) / 船のことを全く知らない旅行者が船に乗りたいと思ったらすぐにその日のうちに船を楽しめる検索システムを!! (いっそん) / ミズベリング大学 (MOTTS) / 川添いで緑化を育てる楽しみ!! また、水辺の風を感じつつ地域イベントとして。一例 夏場流しそうめん / 行政と共存共栄し、実績をつかみ信頼を作る! / みんなでつくる取扱説明書、指南書 どうやってPRする? 広める? / サイン / 看板

お金を集める

ペナルティ型の資金回収でなし、win-win 型の資金回収に / 東京証券取引所東京市場に公共事業 (社会的) のマーケットをつくる (アライ) / ミズベリングクラウドファンディングシステム (つぼやん) / 社会的投資 + 寄付の市民ファンドによる資金調達 (アライ) / 水辺空間オーナー制 (期限付き) (モコ) / 楽しむためのお金を無理なく集めて回す仕組み / これができる水辺空間看板 (モコ)

水を愛する

「見る」という使い方 水に入らなくても楽しめる (生態系、アート、etc.) / 水上パレード / 水辺は都会人の精心開放ホスピタルエリア (ZEAL 平野) / 水辺事例をネット検索できる (あべ) / 身近なだれかを招待したくなる場所に!! まずは自分たちで考えて楽しんでみる。 / 水辺にプランターを配置して個人 (市民) が育てる花畑を作る / 大阪の川は汚いので夜中心にイベントを考えた方がいいと思います / 流し玉をイベント日にする 一人一人の願いを風せんなどに書いてそれを中からライトアップして川に流す。みんなでもお願いも共有できる

公共性

公共 ≠ 公平 / 行政・地域住民の意識変化 ex. 公共空間もうけてはいけい ⇒ もいい / 声の大きい少数の市民によって、逆に公共空間の活用がさまたげられている事を変えよう (なちぐる) / 河川を使う時に「公共性」という言葉があいまい。「新しい公共」へ (なちぐる) / ミズベ利用の市民の意見 (夢) を常時集められる投函先 (ポスト) (募集先) / 協議するよりも競争することの方が大切

規制緩和

占用料を河川 (水辺) 管理して使えるように (あべ) / 河川管理者から直接占用 / 法等の制約を乗り越えるノウハウを集積地や、公共空間活用を促進する組織 / 河川区域内に利用促進のための特別区域指定制度を設ける / 自由に使える推利期間 1年12カ月を大阪市 24区で分けて使う (けんぞう) / 立ち入り禁止エリアの開放 橋の内側 (ニシヤマ) / 河川占用料の還元 / 行政のまちづくり部門と河川部門の連携 (あべ) / 税金分わせていただきます

水辺ショー

主体 = バカ者になるための仕掛けが必要 主体子供の意見も。頭固い大人の会ぎだけじゃダメ... / サポーター、アンバサダーの輪が広がればプレーヤーとゲストだけでは長続きしない (サノ) / やりたい! と思ったら仲間をすぐに見つけられるもの (アオキ) / 行政と水辺の活動されている方との (双方向の) コミュニケーション充実するために、サロンを作ったら / 地域の企業やお店を巻き込む仕組み / 水辺だけでなくまちづくり関係者の連携 アーティストのとりこみ / 住人のやる気を上げるしくみ! (アオキ)

情報発信・交換

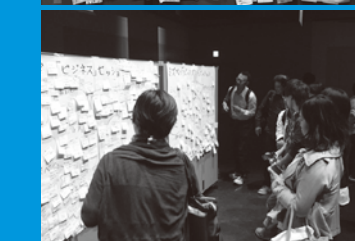
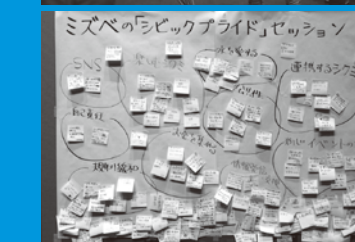
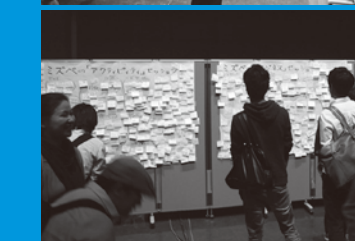
水辺を使いたい時手続きの方法を教えてください代行してくれる水辺案内所があれば (いっそん) / 行政のワンストップ窓口も大変。みんなで議論して突破を / ワンストップで行政申請をお世話してくれるコーディネーター / 「川辺でこういうことをやりたい」ってなった時に、どこにどう問い合わせたらいいのかをわかりやすくしてほしい。(いちや) / 水辺の使い方相談窓口 (手続) の一本化 (あべ) / 事例の共有 行政は前例主キ 住民は使い方の学びへ

自己責任

川から柵を無くす。自己責任空間を作る。(こうじやさん) / 3つの約束まもれたら何してもいいよ! ってルールを宣言。①もどおりにする ②大げがしない ③100人 (3人でもいい) 以上楽しい

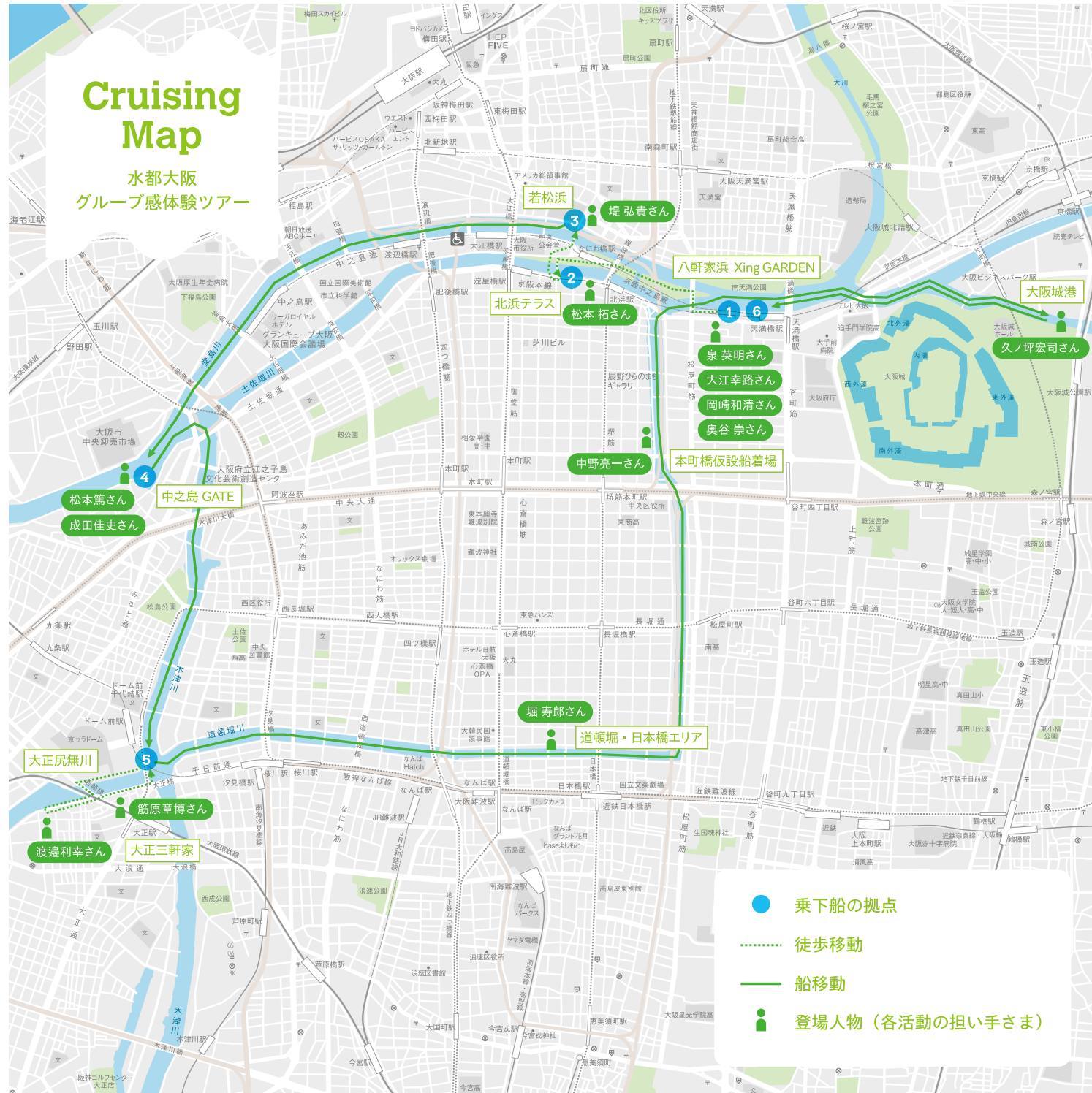
議論

原っぱ (自分でつくるもの) と遊園地 (与えられたもの) どちらも大切 / 月に一度くらい船隊を組んで水の回ろを巡る催し / 企業 × 学生でイベントを行う / 月に1度決まった数字、曜日で集まるスモールイベントを持って約束としてブログアップしてもらおう / 大阪ピクニックデーを設定する 毎月第3 (土) のランチタイム (けんぞう) / 各種企業のメッセ・イベントを定期的におこなう / シビックプライドを持つために ⇒ 自ら何かを差し出す「持ち寄り一品 P1」イス? お金? 手間? / 他大学同士で協力してイベントの実施 (学生メイン)



【ミズベのシビックプライド・セッション】

3



Time Table

水都大阪 グループ体験ツアー

時間	内容	所要時間	開催場所	登場人物
10:30	挨拶・主旨「都市の成り立ち、水都大阪の取り組み」	30	八軒家浜 Xing GARDEN	泉 英明さん (水都大阪パートナーズ プロデューサー)
11:00	大阪シティクルーズ、水上安全協会、SUP	15	八軒家浜 Xing GARDEN	大江幸路さん (大阪シティクルーズ推進協議会) 岡崎和清さん (大阪水上安全協会) 奥谷 崇さん (日本シティ SUP 協会)
11:25	※歩き移動 (八軒家浜～中之島公園)	10		
	準則特区店舗 (R、GARB)	15	中之島公園	
11:40	北浜テラス (OUI)	20	北浜テラス	松本 拓さん (北浜水辺協議会)
12:00	ランチタイム (OUI)	40	北浜テラス	
12:40	※歩き移動 (北浜テラス～LOVECENTRAL)	15		
13:00	準則特区店舗 (LOVECENTRAL) ※LOVECENTRAL 乗船～堂島川	5	若松浜	堤 弘貴さん (カトープレジャーグループ)
	ほたるまち～中之島 BANKS	20		
13:20	パートナーズ事業 (中之島漁港・維新派) ※中之島 GATE サウスピア港下船、乗船	20	中之島 GATE	松本 篤さん、成田佳史さん (RETOWN)
13:40	※中之島 GATE～大阪ドーム千代崎港下船	20	大阪ドーム千代崎	
14:00	準則特区予定場所 (リバーサーカスイベント実施中) ※歩き移動 (イベント会場～尻無川沿い店舗～会場)	40	大正尻無川・大正三軒家	筋原章博さん (大正区長) 渡邊利幸さん (川を生かしたまちづくり協議会)
14:50	大阪ドーム千代崎港乗船 ～道頓堀川水門～道頓堀川～東横堀川	40	道頓堀・日本橋	堀 寿郎さん (水辺バル道頓堀チーム)
15:10	本町橋仮設船着場 (来年度以降準則特区)	10	本町橋	中野亮一さん (eよこ会)
15:20	本町橋～東横堀川水門～大川	15		
15:35	大川～寝屋川～大阪城 大阪城港	15	大阪城	久ノ坪宏司さん (大阪水上バス、大阪城ハーバー委員会)
15:55	大阪城港～八軒家浜下船	15		
16:10	自由解散			
16:30	休憩の後、懇親会		八軒家浜 Xing GARDEN	

1 水都大阪の取組み紹介

水都大阪パートナーズ プロデューサー
泉 英明さん

大阪の都市の成り立ちと人々の生活と川や堀の関わり、ここ十数年の官民のハード整備やゲリラ的活動の紹介、水都大阪 2009 から 2012 年までの市民参加の取組み、2013 年度以降の官民の推進体制の強化とプロジェクトの紹介、などを行いました。



2 仕掛け人に出会うツアー&クルーズ

八軒家浜 Xing GARDEN

中之島公園

北浜テラス (OUI)

Hachikenyahama
11:00 - 11:15

Nakanoshima Park
11:25 - 11:40

Kitahama Terrace
11:40 - 12:00



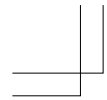
大阪シティクルーズ推進協議会 大江幸路さん
[協議会の活動内容、水都大阪満喫チケットについて]
大阪水上安全協会 岡崎和清さん
[安全協会の設立経緯と現在の活動について]
日本シティSUP協会 奥谷崇さん
[朝 SUP、手漕ぎ天国について]



・水都大阪 中之島公園オータムピクニックの見学
・準則特区店舗 (R、GARB) の説明
・ローズボートの説明
・中之島バラ園



北浜水辺協議会 松本拓さん
[北浜テラス実現までの経緯と現状について]



2 仕掛け人に出会うツアー&クルーズ

準則特区店舗
LOVE CENTRAL

Love Central
12:40 - 13:05



カトーブレジャーグループ 堤弘貴さん
[LOVE CENTRALの施設概要について]

中之島GATE
サウスピア

Nakanoshima Gate Southpier
13:20 - 13:40



RETOWN 松本篤さん、成田佳史さん
[中之島GATEで開業予定の中之島漁港の展望について]
・劇団維新派「透視図」屋台村の見学

大正区エリア

Taisho-ku
14:00 - 14:40



・準則特区予定場所（大正リバーサーカス実施中）見学
大正区長 筋原章博さん
[準則特区予定場所の今後の展開について]
川を生かしたまちづくり協議会 渡邊利幸さん
[協議会の活動、船を活用したプランの説明]

道頓堀エリア

Dotonbori
14:50 - 15:10



堀寿郎さん、高島太さんをはじめとする水辺バル道頓堀チームでお出迎え。道頓堀リバーウォークでの大阪の陸と船で手を振り合うコミュニケーションに参加者は驚いていました。

本町橋仮設船着場

Honmachibashi
15:10 - 15:20



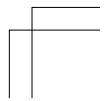
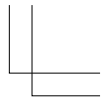
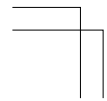
e-よこ会 中野亮一さん
[本町橋船着場の完成後のイメージや将来の展望について]

大阪城港

Osaka Castle Port
15:35 - 15:50



大阪水上バス 久ノ坪宏司さん
[大阪水上バス概要、大阪城ハーバー周辺の活用について]



MIZBERING 大阪会議

[2015年に向けての3つの宣言]

全セッション終了後に、各セッションのまとめと、今回の「ミズベリング大阪会議」についてのまとめを、水都大阪パートナーズ プロデューサーの忽那から発表させていただきました。来年の意気込みとしては、以下の3つになります。

1

やりたいヒト、やりたいコトがいっぱい
ミズベの可能性はまだまだある！

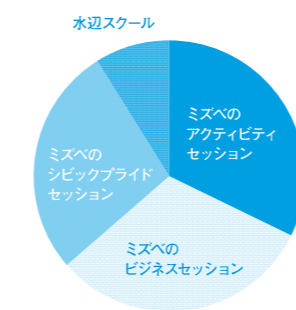
2

日本のミズベを世界へ
ミズベリング世界会議を大阪で開催しましょう！

3

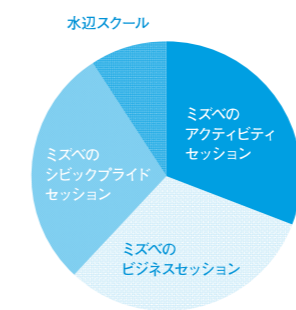
ミズベの活動のショーケース
水と光の大文化祭「水都大阪フェス 2015」を実施！

全体アンケート集計・抜粋



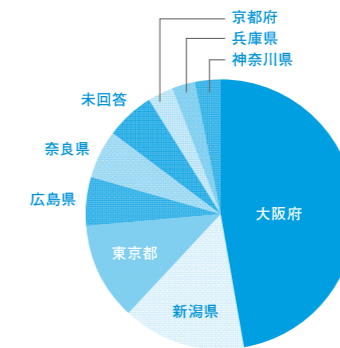
ご興味があったプログラムは？

ミズベのアクティビティセッション	32.5%
ミズベのビジネスセッション	31.3%
ミズベのシビックプライドセッション	27.5%
水辺スクール	8.8%



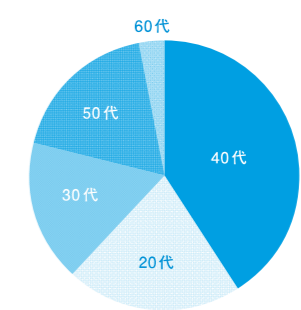
参加されたプログラムは？

ミズベのアクティビティセッション	31.1%
ミズベのビジネスセッション	31.1%
ミズベのシビックプライドセッション	29.2%
水辺スクール	8.5%



どちらから越られましたか？

大阪府	47%
新潟県	14.7%
東京都	11.7%
広島県	5.8%
奈良県	5.8%
京都府	2.9%
兵庫県	2.9%
神奈川県	2.9%
未回答	5.8%



年齢の分布

20代	20.6%
30代	17.6%
40代	41.2%
50代	17.6%
60代	2.9%
70代	0%

[参加人数]

(水辺セッション) 水辺セッション	170名
水の回廊クルーズ &「維新派」鑑賞	26名
(水辺スクール) 水都大阪 グループ感体験ツアー	26名

[アンケート(抜粋)]

素晴らしい会議、ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします/特に経済界がしっかり動かれていることに、多く学ぶことができました。今日は行政側の顔があまり見えてきませんでしたのでその辺今後教えていただければと思いました/水辺にかかる様々な取り組みが精力的に推進されていることついて、そこに関わる人々、企業などの熱意に驚いた。大阪の水辺は先進事例として参考とさせていただきたい/推進体制におけるパートナーズ運営の行政の役割と費用負担、その他機関等の役割と費用負担を具体的に知りたい。